

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	実習前演習OSCE I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学 期	後期	教室名	5F機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進				
実務経験と その関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。健康学修士。				
《授業科目における学習内容》					
臨床実習に向けての技術の獲得					
《成績評価の方法と基準》					
OSCE:100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著					
《授業外における学習方法》					
日頃から放課後などに学生同士で実技練習を行うこと					
《履修に当たっての留意点》					
評価実習前にはOSCEがあり、最低限必要と考えられる評価能力を身につけて欲しいと願います。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習	
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う			
第2回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習	
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う			
第3回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習	
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う			
第4回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習	
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う			
第5回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習	
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 7 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 8 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 9 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(移乗介助)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	移乗介助の復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	実習前演習OSCE I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年		学 期	後期	教室名	5F機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進					
実務経験と その関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。 健康学修士。					
《授業科目における学習内容》						
臨床実習に向けての技術の獲得						
《成績評価の方法と基準》						
OSCE:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著						
《授業外における学習方法》						
日頃から放課後などに学生同士で実技練習を行うこと						
《履修に当たっての留意点》						
評価実習前にはOSCEがあり、最低限必要と考えられる評価能力を身につけて欲しいと願います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習		
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う				
第17回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習		
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う				
第18回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習		
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う				
第19回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習		
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う				
第20回	授業を通じての到達目標	OSCE練習(ROM-t)	配布資料、「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著	ROM-tの復習		
	各コマにおける授業予定	OSCEを想定した実技練習を行う				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			